

令和4年度地方創生推進交付金事業の実績報告について

令和4年度地方創生推進交付金を活用し実施した事業の実績について報告します。

1 交付金の活用目的

国の地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を複数年度にわたり安定的・継続的に支援することにより、地方創生の深化・高度化を促すものです。本市においても交付金を活用し、複数の政策を相互に関連づけるなど、地方創生の充実・強化を図る事業へと展開するとともに、市の財政負担の軽減を図っています。

2 PDCAサイクル

- 国の採択を受けた事業について毎年実績報告をとりまとめ、重要業績評価指標（KPI）の達成状況を国に報告。
- 検証の実施（外部有識者の意見聴取）。
- 検証結果を受けて事業改善を行い、次年度以降の事業を実施。

3 交付金事業の概要

(1) スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業

スマート農業などの実証事業による生産性向上や地元産品等を活用した新製品開発やブランド化の支援による高付加価値化を図るとともに、インターネットショップの運営などによる販路拡大やPRのための支援や担い手不足解消に向けた事業の実施により、農林水産業をはじめとする地域経済における諸課題の解決を図ります。

(2) 中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業

鳥取駅周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行うとともに、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開することで、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進を図ります。

(3) 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

鳥取市による『サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和3年度SDGs未来都市に選定されました。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進めます。

(4) 麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

麒麟のまち圏域の地方創生に向けて、地域の課題解決に取り組む人材育成に取り組むとともに、地域資源の魅力向上やエリアプロモーションを行い、まちの魅力アップを図り、地域への愛着度を高め、住む人・来る人を選ばれるまちづくりに取り組みます。また、麒麟のまち全体で、観光消費額向上に戦略的に取り組み、圏域経済の活性化を図って稼ぐ地域を創出します。加えて、圏域人口の維持・増加を図るため、持続的な人材確保に向けて、圏域一体となった移住促進と若者定住を進めます。

4 事業実績の概要

事業名 (実施期間)		総事業費 (うち交付金充当額)	指標	目標値 (R4)	実績値 (R4)	内部 評価	外部 評価
1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業 (R2～4年度)	72,728千円 (26,029千円)	次世代農業実施経営体数 (企業・法人・個人)(年度)	4件	4件	地方創生に相当程度効果が あった	KPI達成に有効であった
			高校生地元就職率(年度)	90.20%	85.01%		
			大学生地元就職率(年度)	25.62%	21.30%		
			インターネットモール「とっとり市」の売上額(年度)	35,213千円	114,686千円		
2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業 (R2～4年度)	2,513千円 (1,257千円)	中心市街地における歩行者・自転車通行量(年度)	15,125人	9,065人	地方創生に相当程度効果が あった	KPI達成に有効であった
			遊休不動産の活用件数(年度)	2件	3件		
			圏域の路線バス利用者数(年度)	2,334千人	2,432千人		
3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション (R3～5年度)	18,967千円 (9,483千円)	鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数(社/年度)	37社	20社	地方創生に効果があった	KPI達成に有効とは言えない
			再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額(千円/年度)	800千円	15,327千円		
			ワーケーションをきっかけとした移住相談者数(人/年度)	15人	0人		
4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業 (R4～6年度)	53,719千円 (26,497千円)	アカデミー参加者による地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数(人/年度)	5件	27件	地方創生に相当程度効果が あった	KPI達成に有効であった
			圏域の観光消費額(円/年度)	29,670円	26,570円		
			鳥取市の延べ宿泊者数(人/年度)	294,964人	288,010円		
			麒麟のまち圏域への移住者数(人/年度)	713人	723人		
合計		147,927千円 (63,266千円)					

※事業実績の詳細は次ページ以降に掲載しています。

地方創生推進交付金事業の評価について

・国が定める以下の区分に基づき、評価を行っています。

● 内部評価について

評価区分		例
①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

● 総合企画委員会委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
①	KPI達成に有効であった
②	KPI達成に有効とは言えない

令和4年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------------	-----------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R2年度～R4年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

人口減少や少子高齢化の進展が農林水産業をはじめとする地域経済に影響を与えている。スマート農業の実証事業による生産性の高い農業の実現、農産物をはじめとする地元産品等を活用した新商品開発やブランド化の支援による高付加価値化、インターネットショップの運営をはじめとする地元産品の販路拡大やPRの支援による販売先の確保、担い手不足解消に向けた支援等の実施により、様々な課題の解決を図り、稼ぐ地域の実現を目指す。

③令和4年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	農産物のスマートブランドの推進と販路による拡大	(1) 農産物等販路開拓事業 本市の農産物や加工品等の販路開拓・拡大を目的とした首都圏向け商品開発事業の実施により、農業者等のビジネスチャンスの創造を図る。	●商談会の実施。 ・新規商談成立数 15件	農林水産部 農政企画課
		(2) 農産物ブランド化事業 鳥取地どり「ピヨ」の生産体制の構築や人材育成等への支援を行い、地どりのブランド化を図る。	●鳥取地どり「ピヨ」の生産組織に対し、地どり生産の専門家による人材育成を通年で実施。 ●販路拡大に向けたPR費用に対する助成の実施。 ●生産に必要な保冷施設の整備支援 0件	農林水産部 農政企画課
		(3) 6次産業化推進事業 農産物等を活用した6次化商品の新規開発や販路開拓、生産加工機器導入等の経費を助成して、収量確保及び加工品出荷量の増加による収入確保を図るとともに、安定した農業経営の支援を図る。	●6次化に取り組む農業者・農業法人へ助成。 ・ワイナリー冷蔵設備の導入（加工用ぶどう） 1件 ・農産物加工場及び保管庫の導入（サツマイモ） 1件	農林水産部 農政企画課
				農産物販路拡大支援事業費
				鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金
				もうかる6次化・農商工連携支援事業費

事業 1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
-------------	-----------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	農産物のスマート農産物の推進に路よる拡大	(4)次世代農業推進事業 先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化や自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組み、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●梨園ほかICT技術を活用した事業継承モデルの実証成果web公開 1件 ●ドローン操縦士資格取得及び操縦実演 2件 ●スマート農業技術横展開補助金0件 	農林水産部 農政企画課 次世代農業推進事業費
		(5)高度物流システム構築支援事業 生産・発注・発送・トレーサビリティ情報を一元的に管理することができるシステムの開発と、コールドチェーンの強化のための保冷施設等の整備。	<ul style="list-style-type: none"> ●新物流DXシステムを構築してトレーサビリティの共有化システム構築 1件 ●輸送マッチングの最適化とコールドチェーンの強化保冷車購入(2t) 1台 	農林水産部 農政企画課 高度物流システム構築支援事業
2	インターネットによる圏域産品のPRと販路の拡大	(1)インターネットモール運営事業 インターネットモール「とっとり市」の運営（カスタマーセンター設置、宣伝広告等の実施、システム保守）を行うことで、インターネットによる販路拡大・開拓を促進し、本市の物産振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●売上高114,687千円（前年比103%） ●リスティング広告やコロナ禍対策として追加キャンペーン（交付金対象外事業）を実施。 ●全国的に増加しているサイトへの攻撃に対応するため保守を行う。 ●商品発送等の処理簡素化のため、配送データ連携を実施。 	経済観光部 経済・雇用戦略課 インターネットショップ事業費
		(2)鳥取市観光コンベンションセンター物産部門運営補助事業 鳥取市ふるさと物産館の運営を行う、鳥取市観光コンベンションセンターの物産部門の運営を支援することで、物産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取市ふるさと物産館年間売上高29,317千円（前年比約106%） ●ネット販売売上高5,409千円（前年比約82%） ●物産会員間の連絡会を定期開催し、「とっとり市」との連携企画発案等の、事業の進捗確認体制が構築された。 	経済観光部 経済・雇用戦略課 物産振興体制強化事業費

事業 1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------	-----------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	担い手不足解消のための人材確保支援	(1)人材確保推進事業 「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」に基づくハローワーク鳥取との連携、企業の自社PR動画作成に対する助成などにより、地元企業の人材確保を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ●ハローワーク鳥取と連携して、高齢者就職説明会、障がい者就職面接会、介護事業所説明会等を実施。 ●企業就職PR動画作成助成金による助成0件 	経済観光部 経済・雇用戦略課 人材確保推進事業費
		(2)雇用促進協議会支援事業 本市の経済発展や雇用創造・促進に寄与することを目的に設置される鳥取市雇用促進協議会が行う、高校生を対象とした企業見学会の実施や職場定着促進セミナーの開催を助成することで若者の地元定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生の企業説明会実施。 ・2校124人、12社が参加 ●地元企業と高校進路指導担当者との就職情報交換会 ・7校、16社が参加 	経済観光部 経済・雇用戦略課 雇用促進協議会支援事業費
		(3)事業承継推進事業 事業承継のための融資借入に係る利子や第三者承継先を探すために専門機関等と契約を結んだ際の初期費用の一部を助成し、また、経営者・後継者などを対象とした事業承継セミナーを開催することで、本市における事業承継を促進し、産業の維持・継続的發展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●事業承継推進補助金による融資借入利子に対する助成6社 ●第三者承継支援補助金による助成1社 ●事業承継セミナー 年2回開催 	経済観光部 企業立地・支援課 事業承継推進事業費
4	販路拡大とブランド化支援	(1)農商工連携マッチング事業 市内事業者間の生産物、加工品、技術、販路等のマッチングや、技術力・販売力向上のための伴走型支援を鳥取商工会議所に委託して実施することで、農商工連携を促進し、地元農産物の販売活性化や6次産業化による高付加価値化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●マッチング支援25社 ●専門家派遣によるアドバイス支援9社 ●販路開拓支援28社 	経済観光部 企業立地・支援課 農商工連携 マッチング事業費
		(2)食品加工産業育成事業 市内食品加工事業者の新商品開発や既存商品改良などの取組や食品加工に係る新規事業の創出を支援することで、本市の豊富な農林水産物を活用した食品加工産業を育成し、地域経済の成長や多角化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●食品加工産業育成事業補助金による助成4件 	経済観光部 企業立地・支援課 食品加工産業育成事業費
		(3)新技術研究開発事業 産学官連携による新製品開発や新技術の研究等について支援する。 ・新技術研究開発事業補助金を交付 ・調査支援型-事業可能性調査、基礎的・予備的試験等に対する支援(補助率2/3、上限60万円) ・研究開発支援型-新技術、新製品の研究開発に対する支援(補助率2/3、上限200万円)	<ul style="list-style-type: none"> ●補助制度の活用0件 	経済観光部 経済・雇用戦略課 新技術研究開発事業費

事業 1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------	-----------------------------

④事業費について

総事業費		72,728,040	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	26,029,442	円
	その他の特定財源	20,669,156	円
	一般財源	26,029,442	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標 1	指標名	次世代農業実施経営体数（企業・法人・個人）（件/年度）				
	関連する事業番号	1	担当部（局）・課等		農林水産部 農政企画課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	－	1	2	4	
	実績値	0	1	6	4	
	達成率		100.0%	300.0%	100.0%	
指標 2	指標名	高校生地元就職率（%/年度）				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	－	88.60	89.40	90.20	
	実績値	87.80	87.09	89.61	85.01	
	達成率		98.3%	100.2%	94.2%	
指標 3	指標名	大学生地元就職率（%/年度）				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度 R3年度
	目標値	－	24.14	24.88	25.62	
	実績値	23.40	17.20	17.70	21.30	
	達成率		71.3%	71.1%	83.1%	
指標 4	指標名	インターネットモール「とっとり市」の売上額（円/年度）				
	関連する事業番号	2	担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課	
		基準値 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	－	26,626,625	30,620,619	35,213,712	
	実績値	23,153,587	63,616,392	111,405,083	114,686,754	
	達成率		238.9%	363.8%	325.7%	

事業 1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------	-----------------------------

内部評価	
②	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>

⑥今後の方針について

事業番号 1	<p>スマート農業技術の普及促進や、企業等新規参入を含む担い手の確保を図るとともに、県、金融機関、商工団体等と連携し、所得向上に有効な6次産業化を推進していく。</p> <p>また、地域商社ととっとり連携した商談会の開催や催事等への積極的な出展により、新たな販路開拓を行い、大消費地である首都圏・関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、更なる生産振興を図るとともに、生産から消費までのトレーサビリティや出荷時期、規格等の正確な情報の共有化と、個人間取引も可能とする独自の物流DXを構築することで大消費地への販路拡大と需要と輸送の効率化を図る。</p>
事業番号 2	<p>「とっとり市」は令和4年度において、本事業と別事業（交付金対象外事業）でのキャンペーン等との相乗効果により、KPIを越える売上高を達成した。4月から12月の長期間に亘り断続的に複数のキャンペーンを行っていたため、キャンペーン以外のベース金額としての妥当性の判断は困難だが、達成されたキャンペーンによる誘客と、誘引された顧客の固定化を行うため、広報活動などの見直し・再構築を行っていく。</p> <p>また、立ち上げている物産会員連絡協議会を媒介に「とっとり市」の売上データ等を展開しており、適切な分析を行うことで、協議会及び会員と「とっとり市」によるPDCAサイクルの確立を促進し、事業の相乗効果を狙う。</p>
事業番号 3	<p>人材確保事業については、企業ニーズに応じた補助事業の継続実施、ハローワーク鳥取との連携事業により、地元企業の人材確保を推進する。</p> <p>雇用促進協議会支援事業は、引き続き企業が高校を訪問して企業説明会を行うことで、地元企業の周知を図る。また、職場定着促進セミナーの開催、人材定着ツールの活用など、若手職員の職場定着を図る。</p> <p>事業承継については、鳥取県の後継者不在率が71.5%と、2年連続で低下してはいるものの、全国2位の高水準（帝国データバンク調べ2022）にある。支援の継続により市内事業所の維持・発展を促し、若者の地元就職における選択肢の確保につなげる。</p>
事業番号 4	<p>農商工連携や食品加工産業の育成については、事業者の課題解決に向け、商工団体等の関係機関との連携による事業の進捗が図られている。引き続き、事業を推進する。</p> <p>新技術研究開発事業については、近年、国・県の補助制度が充実しているため、本市では令和元年度より補助実績がない。令和5年度については事業を一旦廃止することとし、新たな施策の有り方について検討する。</p>

事業 1	スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業
------	-----------------------------

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない
①	

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	3	事業承継セミナーの内容を知りたい。テーマにどの程度の専門性があるのか等。	<p>セミナーの内容としては「事業承継型M&Aについて」「事業承継に係るお金・税について」の2つのテーマを主に取り扱いました。「事業承継型M&Aについて」では、事業承継の現状やM&Aに関する基礎知識、また鳥取県の事業承継・M&Aに関する実態や事例について、株式会社日本M&Aセンターを講師としてお招きし、ご講演いただきました。「事業承継に係るお金・税について」では、各承継方法ごとの税金に関する基礎知識や活用できる特例措置などについて、税理士法人中尾総合事務所税理士・中尾隼大氏にご講演いただきました。他にも、公的な相談窓口である鳥取県事業承継・引継ぎ支援センターの取り組みの紹介や市の補助制度の周知などもセミナー内で行いました。</p> <p>合わせて、事業承継に対して「どこから手を着けたらよいかわからない」などの漠然とした悩みを持つ事業者を対象とした個別相談会も、株式会社鳥取銀行にご協力いただき開催しました。</p>	企業立地・支援課
2	1～3	KPI指標2及び3達成にあまり有効とは言えない。スマート農業技術を活用するということであれば、人材不足、後継者不足を解消する省人化、省力化が進められるべきで、雇用増加と直接結びつくのか疑問である。	<p>スマート農業の活用に関しては、法人や個人がスマート農業技術を導入して、ご意見にあった農作業の省力化・効率化が図られることにより、農業経営の規模拡大や6次産業化による新商品の開発、販路拡大等に取り組むことで、特に雇用就農や、半農半Xを検討する若者にとって魅力があり働きやすい環境が創出されることを期待しているものです。</p>	農政企画課
感想等 No.	事業番号	ご感想等の内容		担当課
1	3	高校生向けに直接地元企業の事業内容や取組を説明する機会は有意義だと思う。企業就職PR動画の助成基準は、広報の強化や地元企業の連携などの取組が必要。		経済・雇用戦略課
2	1	指標の中にスマート農業技術普及の数値も必要と考えます。		農政企画課

令和4年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R2年度～R4年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の中心市のエントランスにふさわしい利便性の高い、活気、魅力のあるエリアにすることを目的とする。エリア周辺の構造的課題の把握、回遊性・滞在性の向上による魅力の創出、遊休不動産の利活用を通じてまちの魅力を高める「リノベーションによるまちづくり」の推進を行う。また、市内外からの来訪者増加に向け、持続可能で利便性の高い公共交通の再構築に向けた事業を展開する。

③令和4年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	鳥取駅北口広場ライトアッププロジェクト	鳥取駅北口周辺広場のライトアップ装飾を施すことで、人々が滞在しやすい空間を整え、賑わいの創出を図る。	●通年点灯して人々が滞在しやすい空間を創出。	都市整備部 まちなか未来創造課
2	（リノ遊休不動産利活用まちづくり推進事業係）	(1)遊休不動産利活用ワークショップ開催経費、専門アドバイザー派遣事業、遊休不動産活用事業、まちなか遊休不動産ワークショッププログラム リノベーションまちづくりに取り組む民間プレイヤーの育成を行う「遊休不動産利活用ワークショップ」の開催、当該ワークショップや遊休不動産活用に取り組む団体等に対し、その分野の専門家をアドバイザーとして派遣する「遊休不動産専門アドバイザー派遣事業」の実施、遊休不動産を活用して、まちなかの賑わいに資するイベント等を開催する団体等を助成する「遊休不動産活用事業」を実施し、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。	●ワークショップ（空き家会議）は、3年ぶりに集客による開催を実施。空き家の実態調査報告や鳥取市の支援制度等を解説し、周知を行った。 ●まちづくり会議を開催し現状の取り組みなど情報共有を行った。（交付金外事業） ●まちなかの戸建て住宅を対象にボスティングを行い制度の周知を行った。 ●遊休不動産専門アドバイザー派遣事業の活用0件 ●遊休不動産活用事業による助成制度の活用は0件	都市整備部 まちなか未来創造課 遊休不動産利活用推進事業

事業2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	システム次世代の導入に共通する業務	(1)自動運転等に関する次世代公共交通システムの導入検討業務 交通事業者の運転者不足が深刻化し、バス路線等の廃止や減便が続いているため、自動運転バス等のAIやIoTを活用した次世代公共交通システムの導入に向けた調査・研究等に取り組み、生活を支える持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る。	●【交付金対象事業外】令和3年度に実施した観光地における自動運転実証実験の課題等を関係者で共有した。市街地における次世代公共交通システムの導入について検討するため、事業者と次の実証実験に向けた検討を行った。	都市整備部 交通政策課 未来型地域交通連携確保 事業費

④事業費について			
総事業費		2,513,141	円
財源内訳	地方創生推進交付金(国補助金)	1,256,570	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	1,256,571	円

⑤重要業績評価指標(KPI)							
指標1	指標名	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日・休日)(人/年度)					
	関連する事業番号	1~2	担当部(局)・課等		都市整備部 まちなか未来創造課		
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	-	14,725	14,925	15,125		
	実績値	14,525	14,398	10,120	9,065		
	達成率		97.8%	67.8%	59.9%		
指標2	指標名	遊休不動産の利活用件数(件/年度)					
	関連する事業番号	2	担当部(局)・課等		都市整備部 まちなか未来創造課		
		基準値 H27年~H30 年度(累計)	R2年度	R3年度	R4年度		
	目標値	-	2	2	2		
	実績値	8	3	0	3		
	達成率		150.0%	0.0%	150.0%		

事業2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

指標3	指標名	圏域の路線バス利用者数（千人/年度）				
	関連する事業番号	3	担当部（局）・課等		都市整備部 交通政策課	
		基準値 H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標値	—	2,585	2,456	2,334	
	実績値	2,721	2,335	2,262	2,432	
	達成率		90.3%	92.1%	104.2%	

内部評価	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>
②	

⑥今後の方針について

事業番号1	隣接する風紋広場との一体的なデザイン・整備によるライトアップ演出が可能となり、駅前のシンボルとしての空間形成を図ることができた。引き続き市民にとっての憩いの場の創出や、イベント利用や出店など公共空間の利活用促進を図り、中心市街地への誘客へ繋げる。
事業番号2	「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、リノベーションまちづくり会議の開催、投融資制度の活用等による事業化の伴走支援や民間、地域によるエリアマネジメント推進に向けた取り組みを進める。また、まちなかの遊休不動産を題材に都市部のワーケーション人材と地元人材のチームを構成し、課題解決に向けた物件の活用提案を行う「まちづくりワーケーションプログラム」を実施するなど、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化、事業化の推進を図っていく。
事業番号3	令和3年度に策定した自動運転移動サービスロードマップに基づき、交通事業者や自動運転技術の提供企業などと協働し、自動運転バスの走行環境の調査研究や実証運行などの取組を推進していく。

事業2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない
①	

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	3	路線バスの取組は今後も必要なので、利用できる範囲を検討することも視野に入れてほしい。	令和3年度に実施した観光地（鳥取砂丘）における自動運転実証実験に続き、鳥取市自動運転移動サービスロードマップに沿って市街地（鳥取駅～鳥取城跡）における自動運転実証実験の実施に向けて検討を進めています。	交通政策課
2	1・2	鳥取駅北口と風紋広場が鳥取駅・鳥取市の象徴となるように更なる整備や明るいイメージを根本に定期的なイベントや出店などを確実に継続していただきたいと思います。 遊休不動産の活用は重要課題だと思います。県・市・不動産業界との話し合い、連携で解決すべき急務だと思います。	今後、駅周辺の再整備に向けた取組を進めるとともに、賑わい創出のための様々な事業も継続してまいります。 また、本市は、鳥取県や宅建協会等が加盟している団体「空き家利活用推進協議会」に参画し、関係者と連携を図りながら遊休不動産の利活用を通じて、賑わいや魅力創出に努めているところです。	まちなか未来創造課
3	2	空家対策に対する、アドバイザー派遣事業や助成制度の活用は充実しつつあると思われるが、個人個人の空家対策をどうしようかと頭を悩ませている人達の問題をどう解決するかも大事だと思われる。	空き家になる要因は様々であり、個別案件毎に適切な支援等を行うことが重要であると考えます。本市では、宅建協会と連携して、住まいに関する総合的な相談窓口を設置し、空き家に関する個別相談への対応等を行っているところです。今後も、よりきめ細やかに対応できるよう努めてまいります。	まちなか未来創造課
4	2	特に事業番号2の取組（遊休不動産利活用推進事業）は工夫が必要と感じます。いずれの事業もPR不足で市民に伝わっていない。	本事業は、本市公式ウェブサイトをはじめ、まちなか情報誌「わかか」やSNS等を通じて情報発信に努めてきたところです。今後、より広く事業の周知が図れるようPR方法を工夫してまいります。	まちなか未来創造課
5	1	中心市街地の通行量の減少はコロナによる生活習慣の変化もあり買物行動も変化しており、このままでは効果は期待できないように感じる。 ライトアップだけでは効果が局所的なので、賑わいを生むイベントなども組み合わせる人を増やす工夫が必要かと思う。	本市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指して、バード・ハットや風紋広場でのイベント開催、桜土手周辺のライトアップなど官民連携での取組を行っているところです。さらに本年度は、ARを活用したイベントや鳥取駅北口のケヤキ広場において賑わい創出実証事業に取り組んでおり、今後、こうした事業の検証結果を踏まえながら、より効果的な事業を検討・実施してまいります。	まちなか未来創造課

事業2	中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業
-----	---

感想等 No.	事業番号	ご感想等の内容	担当課
1	1・3	KPIの指標結果と概要がどのように連携しているのかよく分からない。どちらかといえばコロナの影響で歩行者・自転車の通行量やバスの利用者数に変動があったのではないかと思います。この評価でいいのか、また評価基準に不安が残るものになりました。	まちなか未来創造課
2	1~3	年度による振れ幅が大（指標1、3）、目標値の絶対値が小（指標2）などの理由で適切な評価が難しい。	まちなか未来創造課

令和4年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
------------	--

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R3年度～R5年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

鳥取市による『サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和3年度SDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進める。

③令和4年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	持続可能な農業経営に向けた取組み	(1) 地元リサイクル材活用支援、自然エネルギーを活用したスマート農業実装支援 環境に優しく生産性の高い農業生産（畜産農業を含む。）を推進するため、地元リサイクル材を活用した農業の実施に係る経費の一部を支援する。自然エネルギー100%の電力を活用したスマート農業モデルを手掛ける事業者に対し、投資の一部を支援する。	●昨年度に引き続きホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業

事業3 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組み	<p>(1)ワーケーションプログラムの企画、サテライトオフィス等誘致支援業務</p> <p>●ワーケーションプログラム 県外の方に、鳥取市のSDGsの取り組みを知っていただき、本市に関心をもっていただく機会を作るため、持続可能なまちづくりを題材としたラーニングワーケーションプログラムの企画モニターツアーを行う。</p> <p>●サテライトオフィス誘致 地域資源や地域課題を盛り込んだ「鳥取市誘致戦略」で定めるターゲット業種のサテライトオフィス等の誘致に向け、受託者のノウハウを活用したマッチング業務を委託する。</p>	<p>●鳥取県外に本社のある企業や団体から6社6名が参加した。参加者の評価は概ね高く、本プログラム終了後も継続的に意見交換を行ったり、本市の資源を活用した事業を検討いただいたりと、関係人口の構築に繋がった。</p> <p>●本市への進出を検討いただける企業を調べるためのフォームマーケティングやテレマーケティングを行い、オンライン説明会及び本市視察の機会を積極的に作ることで、1社の誘致につながった。</p>	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室</p> <p>SDGs未来都市推進事業</p>
		<p>(2)交流・研修施設整備支援 本市でワーケーションを行う企業や個人が、テレワークや地域交流に活用するための交流・研修施設の整備に係る経費の一部を支援する。</p>	<p>●市内でテレワークや地域交流ができる空間を整備する事業者2社に対し、補助制度を活用いただいた。 (令和4年度実績2件、計1,202千円)</p>	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室</p> <p>SDGs未来都市推進事業</p>
		<p>(3)とっとりワーケーションネットワーク協議会運営支援 鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局や各ステークホルダーとともに2022年4月に設立した「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援する。</p>	<p>●とっとりワーケーションネットワーク協議会に対し、補助事業として運営支援を行った(補助率1/2、補助金額1,000千円)。</p> <p>●協議会の情報発信事業として、協議会ウェブサイトの立ち上げと更新管理を行った。</p>	<p>経済観光部 企業立地・支援課</p> <p>オフィス移転・新設支援事業費</p>

事業3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み	(1)環境意識向上事業支援 民間事業者等が行うSDGsに対する意識向上に繋がる仕組みづくり（啓発用アプリの構築や普及グッズの開発等）に係る経費の一部を支援する。	●昨年度に引き続きホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
		(2)微生物発電実装事業支援 耕作放棄地を活用した微生物発電を実装するための経費の一部を支援する。	●微生物発電の実証実験を行っている企業に本制度を活用いただいた。発電効率が最も高くなるガラス発泡材の素材開発につながり、LED電灯の点灯や、実験圃場に近接する桜のライトアップが行われた。 （令和4年度実績1件、3,000千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業
				SDGs未来都市推進事業

事業3 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
4	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組みを高める統合的な取組	(1)SDGs未来都市プロジェクト推進協議会の運営 各ステークホルダーを集めた連絡協議会を立ち上げ、SDGs未来都市プロジェクトの経済・社会・環境側面の取り組みの有機的な接続を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●企業立地・支援課内にSDGs未来都市推進事務員を配置し、本市の取り組みの情報発信を行った。 ●SDGs未来都市の周知、啓発を目的として、シンボルロゴマークの公募を行った。全国から172人・216件の申込をいただき、選考委員の審査により、1件を決定した。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室</p> <hr/> <p>SDGs未来都市推進事業</p>
		(2)各種ツールを用いた情報発信、啓発セミナー等の開催 SDGs未来都市啓発用パンフレットの作成、情報発信用Webページの更新・保守、情報発信用動画の作成を行う。 「SDGs」とは何か、「鳥取市SDGs未来都市」とはどんな取り組みか、啓発するためのセミナー等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ●SDGs未来都市パンフレットを作成し、啓発を行った。 ●本市の取組を周知するためSDGs未来都市特設サイトの運営・保守を行った。あわせて、ワーケーションの啓発、SDGsの座談会等の動画を制作した。 ●鳥取市に拠点を置いているまたは、鳥取市への進出に興味がある事業者向けに、SDGs経営の実践に向けたセミナーを開催した。参加人数：43団体54人 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室</p> <hr/> <p>SDGs未来都市推進事業</p>
		(3)啓発セミナー等の開催 市内小学校を対象に、温暖化をはじめとする地球環境問題を理解してもらい、その対応策である再生可能エネルギーの活用や省エネ意識・行動の有用性を訴求するような出前授業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ●7校の小学校から応募があり、延べ286人の児童を対象に出前授業を実施。 ●域内再生可能エネルギー施設見学等、実地での学習も交えたプログラムとして提供。「見学1日+座学1日」の2日間のプログラムを基本とし、ワークや振り返りの時間を設けるなど学習効果を深める工夫を行った。 	<p>経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室</p> <hr/> <p>スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費</p>

④事業費について

総事業費		18,967,179	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	9,483,589	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	9,483,590	円

事業3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

⑤重要業績評価指標 (KPI)

指標1	指標名	鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数(社/年度)				
	関連する事業番号	1・3・4	担当部(局)・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	-	15	37	62	
	実績値	0	15	20		
	達成率		100.0%	54.1%		
指標2	指標名	再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額(千円/年度)				
	関連する事業番号	1	担当部(局)・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	-	500	800	1,500	
	実績値	0	4,680	15,327		
	達成率		936.0%	1915.9%		
指標3	指標名	ワーケーションをきっかけとした移住相談者数(人/年度)				
	関連する事業番号	2	担当部(局)・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標値	-	0	15	25	
	実績値	0	0	0		
	達成率		-	0.0%		
内部評価		<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>				
③						

事業3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

⑥今後の方針について

事業番号1	持続可能な農業経営に向けた取り組みとして、環境に優しいスマート農業の実践モデルを市内に増やすために、企業による農業参入を希望される企業とのマッチング活動を引き続き進めていく。また、地元リサイクル材を活用した環境に優しく生産性の高い農業経営を進めていく。
事業番号2	都市部から地方への人材確保の取組を進めていくため、令和4年度に実施したラーニングワーケーションプログラムのブラッシュアップを図る。また、鹿野町の地域課題解決をテーマに、都市圏の多様な業種・職種の人々がチームを組み地元事業者とコラボしたワーケーションプログラムが新たに実現できるよう支援を行っていく。 併せて、都市圏企業による地方進出のきっかけづくりのため、また関係人口創出のため、引き続き「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援し、市内を舞台にしたワーケーションを実施する。また各種ワーケーションイベントの実施に当たっては、移住定住担当部署と連携することにより、ワーケーションをきっかけとした移住定住に繋げていく。
事業番号3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取り組みとして、民間企業が主体となって行っている微生物発電の実用化に向けた取組に本市も参画し、経費における支援を引き続き行う。また、環境省より令和5年4月28日採択された脱炭素先行地域の取り組みとの連携を図ることで、より効果の高いカーボンフリーなまちづくりを進めていく。
事業番号4	事業番号1～3の取り組み効果を高める統合的な取り組みとして、引き続き広く情報発信、啓発事業を行っていく。また、行政だけでなく、鳥取市SDGs未来都市の各ステークホルダーも積極的に情報発信を行っていただくことで、本市の取組みのさらなる認知拡大につなげる。

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
②	①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

事業3 「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

意見等 No.	事業 番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	2	<p>「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の事業内容と運営状況、また市がどのような運営支援を行ったのか知りたい。</p>	<p>本協議会は「鳥取でなければ体感できない新たなワークスタイル・ライフスタイルを実現することにより、鳥取らしさの誇りの醸成及び関係人口を増加させ、もって地域活性化と経済の発展及び企業人材が鳥取へ来訪するきっかけづくりに寄与すること」を目的として、令和4年4月に設立されました。</p> <p>主な事業内容はワーケーション推進事業（ワーケーションに関する講演会の開催・各種モニターツアー共催・セミナー共催等）、情報発信事業（協議会ウェブサイト更新管理・各種メディアを活用した広報活動）、ネットワーク構築事業（協議会会員募集活動）等です。</p> <p>本協議会は鳥取県、鳥取市、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局が中心となって運営しており、事務局は麒麟のまち観光局が行っております。</p> <p>本市は関係人口増加のために、鹿野地域における持続可能なまちづくりを舞台とした越境学習プログラム「ラーニングワーケーション」のモニターツアーの実施、鳥取で暮らす人材と都市部の関係人口メンバーでチームを組み、鳥取市中心市街地のまちづくり課題に取り組む「まちづくりワーケーションプログラム」を実施するとともに、主に県外企業に対し、本協議会の取組を含めたとっとりワーケーションのPRを行っております。</p> <p>また令和4年度は事業費2,000千円については、鳥取県・鳥取市がそれぞれ1,000千円ずつ補助金を交付し運営支援を行いました。</p>	<p>経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室</p>
2	3	<p>環境意識向上事業支援等は、ホームページだけでなく、媒体でのPRやイベント開催等が必要ではないか。昨年ベースの広報で応募状況が芳しくない事業については、広報のテコ入れが必要。</p>	<p>本市ではSDGs未来都市計画の周知に向け、特設専用サイトを開設し、積極的な広報に努めておりますが、SNSやYouTube動画制作による情報発信、パンフレット・チラシの制作、出前授業での説明、企業向けセミナーの実施等、様々な周知活動に取り組んでまいりました。しかし、事業の内容が浸透しているとは言い難い状況です。</p> <p>今後は、本市だけでなく、SDGs未来都市計画に関わるステークホルダーにも情報発信にご協力いただくよう話を進め、官民連携によって広報活動を進めていくよう、取り組んでまいります。</p>	<p>経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室</p>

事業3	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
-----	--

意見等 No.	事業 番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
3	1～4	SDGs未来都市として鳥取市がゴールを目指すためには、各ステークホルダーを頼ること以上に、行政サイドも一緒に汗をかき、協働・行動することが必要ではないでしょうか。	<p>本市SDGs未来都市計画の達成に向けては、各ステークホルダーの取り組みだけでなく、本市も積極的に事業を実施し、官民連携によって相乗効果を高めていく必要があると考えています。</p> <p>具体的には、特設サイトや各種SNS等による情報発信、市民・企業向けセミナーの実施、ステークホルダーが手掛ける事業が加速されるような積極的支援等を実施しております。</p> <p>また、企業版ふるさと納税による寄附をいただくための営業活動など、財源確保に向けた活動も続けていき、持続可能な取り組みとなるよう、官民連携で取り組んでまいります。</p>	経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室
感想等 No.	事業 番号	ご感想等の内容		担当課
1	1～4	本事業に関連づけて指標1及び指標3を達成することは極めて困難である。特に指標3については、「とっとり型ワーケーション」が雇用創出、移住促進につながるのか不明である。テレワークになじむのかも疑問がある。		経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室
2	1～4	崇高な事業目標のため、一つ一つの方針、方向性は正と考えるが、個々の方針の説明不足は否めない。これからの啓発活動に期待します。		経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室

令和4年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
-----	------------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R4年度～R6年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

麒麟のまち圏域の地方創生に向けて、地域の課題解決に取り組む人材育成に取り組むとともに、地域資源の魅力向上やエリアプロモーションを行い、まちの魅力アップを図り、地域への愛着度を高め、住む人・来る人に選ばれるまちづくりに取り組む。また、麒麟のまち全体で、観光消費額向上に戦略的に取り組み、圏域経済の活性化を図って稼ぐ地域を創出する。加えて、圏域人口の維持・増加を図るため、持続的な人材確保に向けて、圏域一体となった移住促進と若者定住を進める。

③令和4年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	まちづくり人材の育成とまちの魅力アップ事業	(1)とっとりふるさとリーダーアカデミー事業 平成23年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。	●とっとりふるさとリーダーアカデミー開催 ゼミ開催及び個別相談を実施し、参加者延べ793名の中から27名の地域リーダーが誕生した。 ゼミを計15回開催した。 内訳は以下のとおり。 ・全体研修会 1回 ・テーマ別専門ゼミの開催 4回 ・エリア別地域ゼミの開催 8回 ・麒麟のまち交流ゼミ 2回	市民生活部 地域振興課 過疎地域振興事業費
		(2)麒麟のまち圏域エリアプロモーション推進事業 麒麟のまち圏域各地域の季節毎の魅力を発信する広報紙を、夏、秋、冬の計3回制作・配布し、各地域に対する住民の相互理解と地域愛着度の向上を図るとともに、圏域住民だけでなく観光客も含めた圏域内周遊を促進する。	●合計発行部数45,000部（15,000部×3回）	企画推進部 政策企画課 麒麟のまち創生推進事業費
		(3)地域の魅力創出事業 鳥取市・岩美町・八頭町が連携し「鳥取すごい！ライド」を開催する。 参加者が自転車で巡りながら、豊かな自然や美味しいグルメを楽しむイベントを開催することで周遊観光の取組を推進する。併せて本市の「自転車が走りやすい、走ってみたいまち」というイメージを全国に発信する。	●「鳥取すごい！ライド2022」開催 ・実施日：令和4年10月16日 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催。全国各地（北は北海道、南は高知まで）から527名（招待者、ゲスト含む）の参加があった。	市民生活部 地域振興課 地域の魅力創出事業

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
------------	------------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	広域観光推進事業	(1)麒麟のまち観光局運営支援 地域連携DMO（麒麟のまち観光局）の運営を支援し、鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町への誘客や周遊促進に取り組み、観光消費の拡大を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年7月22日～10月28日までインスタグラムを活用した投稿キャンペーンを実施し、圏域内周遊を促進（投稿総数439件） ●圏域内の飲食店を対象にGoogleビジネスプロフィールへの登録を専門人材を登用し支援し情報発信強化するとともに、圏域観光サイトにおいて「食」のコンテンツ充実を図った。（Google登録店舗数156店舗） ●圏域を訪れる観光客を対象に独自のWEBアンケート調査を実施し消費額や周遊環境の満足度を把握しマーケティング分析に活用した。（回答総数2,714件） 	<p>経済観光部 観光・ジオパーク推進課</p> <hr/> <p>広域観光開拓・推進事業費</p>

事業4 麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	圏域人口対策事業	<p>(1)移住定住相談会への出展、麒麟のまち移住セミナー事業、麒麟のまち移住促進イベント企画運営事業</p> <p>鳥取県東部圏域1市4町及び兵庫県北西部2町で移住相談会に合同出展し、圏域の魅力を発信するとともに、移住相談を実施する。また、関西圏で圏域への移住セミナーや圏域を巡る移住体験ツアー（麒麟まちワーホリ）の実施により、圏域への移住定住の促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと回帰フェアへの合同出展 <ul style="list-style-type: none"> ・おいでや！いなか暮らしフェア2022（大阪府）への出展。圏域で延べ32組48名来場 ・ふるさと回帰フェア（東京都）への出展。圏域で延べ38組52名来場 ●鳥取市への移住促進パンフレットやお試し定住体験住宅のリーフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住相談会やその後の相談対応の際に活用するリーフレットを作成。 ●移住セミナー・移住体験ツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・【移住セミナー】麒麟のまちと出会おうDAY!!@大阪 44名参加 ・【移住体験ツアー】麒麟のまちと出会おうDAY!!@麒麟のまち 7名参加 	<p>市民生活部 地域振興課</p> <hr/> <p>人材誘致・定住促進対策事業費</p>
		<p>(2)若者定住に向けた婚活支援事業</p> <p>麒麟のまち婚活サポートセンターの運営により、婚活イベントの開催やフォローアップをすることで出会いから成婚までのサポートを行い、若者世代の定住を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施件数51件 ・イベント参加者数1,009人 ・カップル成立数75組 ・会員同士の成婚報告数6組 ・会員以外との成婚報告者数16人 	<p>企画推進部 政策企画課</p> <hr/> <p>若者定住促進事業費</p>
		<p>(3)鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業</p> <p>本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者定住につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件 ●学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件 	<p>企画推進部 政策企画課</p> <hr/> <p>鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費</p>

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
-----	------------------------------

④事業費について

総事業費		53,719,604	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	26,496,664	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	27,222,940	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1	指標名	アカデミー参加者による地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数（人／年度）				
	関連する事業番号	1	担当部（局）・課等		市民生活部 地域振興課	
		基準値 R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	目標値	－	5	5	5	
	実績値	292	27			
	達成率		540.0%			
指標2	指標名	圏域の観光消費額（円／年度）				
	関連する事業番号	1・2	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
		基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	目標値	－	29,670	34,121	39,239	
	実績値	25,800	26,570			
	達成率		89.6%			
指標3	指標名	鳥取市の延べ宿泊者数（人／年度）				
	関連する事業番号	1・2	担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
		基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	目標値	－	294,964	295,964	296,964	
	実績値	293,964	288,010			
	達成率		97.6%			
指標4	指標名	麒麟のまち圏域への移住者数（人／年度）				
	関連する事業番号	3	担当部（局）・課等		市民生活部 地域振興課	
		基準値 R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	目標値	－	713	737	771	
	実績値	699	723			
	達成率		101.4%			

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
-----	------------------------------

内部評価	内部評価基準
②	<p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>

⑥今後の方針について

事業番号1	<p>令和2年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。</p> <p>麒麟のまち圏域エリアプロモーション推進事業として令和5年度は、圏域内のSDGsに着目したイラストや写真、川柳の作品を募集するキャンペーンを実施し、SDGsの普及啓発を行うとともに圏域内周遊を促進することで、圏域への興味・関心を高めていく。</p> <p>また、「鳥取すごい！ライド2023」（令和5年10月開催予定）は、感染症法上の位置づけが2類から5類に移行したことにより、感染症対策を緩和したうえで、全国からより多くの方に参加していただくなど、圏域全体の魅力アップに取り組む。</p>
事業番号2	<p>地域連携DMO「麒麟のまち観光局」では、圏域の中心市である鳥取市の既存観光サイトへ圏域内6町の情報を掲載するリニューアルを令和4年度中に実施。併せて、民間飲食店舗などを中心とするGoogleビジネスプロフィールへの登録支援に注力した。これら情報発信力の強化に加えて、今後予定している、宿泊分析システムの導入による観光マーケティング分析の深化や、観光CRMアプリの開発・運用による効果的な販売促進プロモーション等の展開により、圏域へのさらなる誘客促進及び観光消費額の拡大をめざし、アフターコロナにおける早期回復を図る。</p>

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
-----	------------------------------

事業番号3	<p>移住定住相談会については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の合間を縫って対面イベントの実施や参加を行ったが、コロナ前ほどの来場者数に戻っていない状況であった。今後は、5類への移行により人の動きが活発になり、移住相談会への来場者の増加が見込めることから、引き続き、全国規模の相談会に圏域で連携して出展することで、移住希望者のニーズ把握や移住者数の増加につなげていきたい。</p> <p>婚活支援事業については、令和5年度は全国的に活躍している婚活アドバイザーの方に事業のアドバイザーに就任いただき、婚活事業のブラッシュアップを図るとともに、趣味趣向を同じくする会員が定期的に活動する機会を提供する「サークル活動」を開始し、解消しにくいカップルの成立を目指す。</p> <p>また、就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。</p>
-------	--

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
①	①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

意見等 No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	麒麟のまち圏域の活性化はもっと努力してほしい。SNSも多様化しており属性が異なるので、ツイッターや他のものも利用しては？民間の力も活用したい。	麒麟のまち圏域では、SNSや広報誌、ホームページなど、様々な媒体を活用し、観光・移住促進をはじめ圏域全体の活性化に向けて取組を進めているところです。引き続き、行政のみならず民間団体等とも連携を図りながら、取組を進めてまいります。	政策企画課
2	1	とっとりふるさとリーダーアカデミーは参加者が延べ793名と多く関心の高さがうかがえる。令和6年度の目標値は今年度の実績から30名にされては？	地方創生推進交付金計画を変更するには内閣府の認定を受ける必要があり、目標値の修正については令和4年度実績に加え、今年度の事業実績等も考慮しながら検討します。	地域振興課
3	2	指標2について、圏域の観光消費額（円/年度）の何が29,670円なのか、あれこれ考えてみましたが理解できませんでした。	地域連携DMOである（一社）麒麟のまち観光局では、圏域を訪れる観光客を対象に滞在期間中の観光消費額を調査しており、調査項目は宿泊・飲食・土産物・体験・交通の各費用となります。指標数値に関しては、調査全体で得られた観光消費額の総額を調査人数で割り戻した一人当たりの平均単価としており、令和3年度の基準値に対し年15%上昇させる計画としています。	観光・ジオパーク推進課

事業4	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業
-----	------------------------------

感想等 No.	事業番号	ご感想等の内容	担当課
1	3	婚活、移住はニーズが高まっているので事業として成果も出やすいと思うのでさらに積極的に取り組んでほしい。	政策企画課
2	3	移住定住に関しては、移住後のアフターフォローも大切だと思いますし、定住するためには住居問題（不動産）、企業（安心して働ける会社）が必須だと思いますので、安心して暮らせる鳥取市となるよう頑張ってくださいたいです。	地域振興課
3	3	婚活、移住はニーズが高まっているので事業として成果も出やすいと思うのでさらに積極的に取り組んでほしい。	地域振興課
4	1・2	本市において誇るべき財産である砂丘を地元の人こそその魅力を存分に知り、一帯を観光客が一日中楽しめるようなスポットにして集客に繋げるような工夫をしてほしい。	観光・ジオパーク推進課